

ESET PROTECT ソリューション
V7 から V8 以降へのバージョンアップ手順書

ESET PROTECT ソリューション

V7 から V8 へのバージョンアップ手順書

第 10 版

2022 年 2 月 15 日

キャノンマーケティングジャパン株式会社

目次

| | |
|---|----|
| 1. はじめに | 3 |
| 2. 本資料における構成の前提 | 4 |
| 3. 新バージョンへのバージョンアップフロー | 5 |
| 4. 【STEP1】 ESET Security Management Center サーバーのバックアップ .. | 6 |
| 5. 【STEP2】 サーバーのバージョンアップ | 11 |
| 6. 【STEP3】 エージェントのバージョンアップ | 29 |
| 7. 【STEP4】 クライアント用プログラムのバージョンアップ | 42 |
| 8. 【STEP5】 ESET PROTECT での管理開始 | 50 |

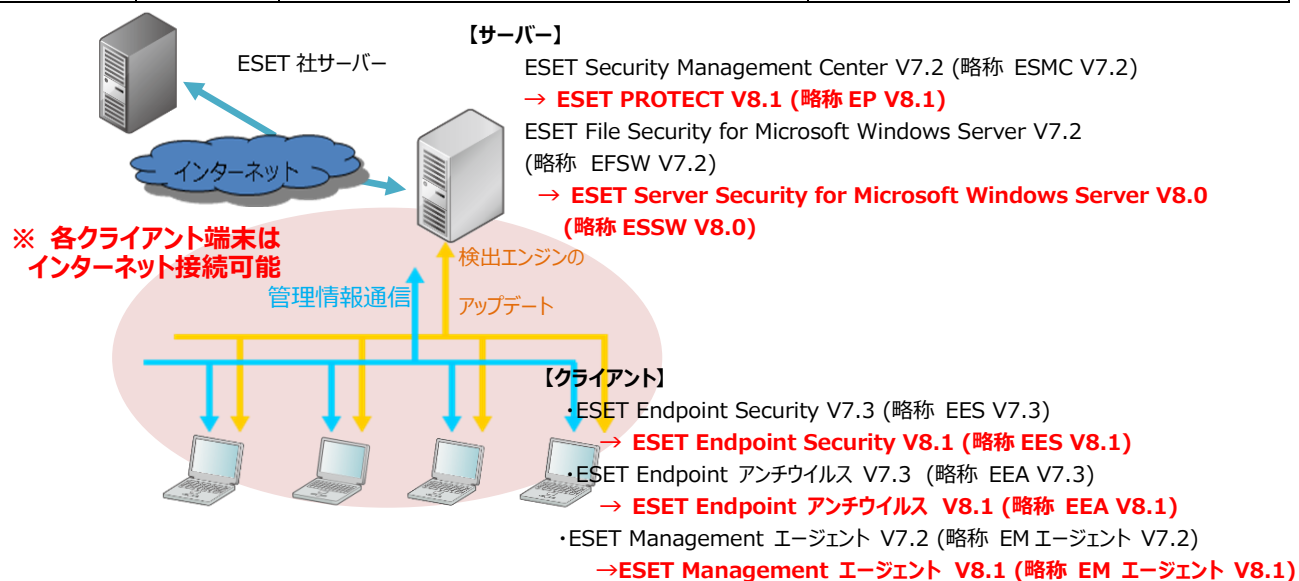
1. はじめに

- 本資料は、ESET PROTECT ソリューションをご利用のお客さまがバージョン 7 からバージョン 8 へバージョンアップする際に必要となる作業や注意事項について記載しています。
- 本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに記載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また、本資料の内容は将来予告なく変更することがあります。
- 本製品の一部またはすべてを無断で複写、複製、改変することはその形態に関わらず、禁じます。
- ESET、NOD32、ThreatSense、LiveGrid、ESET Endpoint Protection、ESET Endpoint Security、ESET Endpoint アンチウイルス、ESET File Security、ESET Server Security、ESET NOD32 アンチウイルス、ESET Security Management Center、ESET PROTECT は、ESET, spol. s. r. o. の商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V、Internet Explorer、Outlook、Windows Live は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。Mac、Mac logo、Mac OS、OS X は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。Android Robot のイラストは、Google が作成、提供しているコンテンツをベースに変更したもので、クリエイティブ・コモンズの表示 3.0 ライセンスに記載の条件に従って使用しています。仕様は予告なく変更する場合があります。

2. 本資料における構成の前提

本資料は、以下の構成を前提として、V7 のプログラムから V8 以降へバージョンアップする際のフローや注意点を記載しております。以下の構成に当てはまらないバージョンや構成におきましても、本資料を参考にバージョンアップを実施いただけるように必要な情報を記載しております。

| | | バージョンアップ前 | バージョンアップ後 |
|--------------------------------|---------------|---|---|
| 全体構成 | | <ul style="list-style-type: none"> ・Windows クライアント、300 台程度管理 ・モバイル管理なし ・1 台の専用サーバー機で管理機能とミラー機能を運用 ・プロキシサーバーなし ・オールインワンインストーラーを利用してインストール | <ul style="list-style-type: none"> ・Windows クライアント、300 台程度管理 ・モバイル管理なし ・1 台の専用サーバー機で管理機能とミラー機能を運用 ・プロキシサーバーなし ・既存サーバーを利用 ・各クライアント端末はインターネット接続可能 |
| サーバー用 (Windows Server 2016) | 管理 | ・ESET Security Management Center V7.2 | ・ESET PROTECT V8.1 |
| | ミラー | <ul style="list-style-type: none"> ・ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.3 または 2018 年 4 月 9 日以降公開のミラーツール | <ul style="list-style-type: none"> ・ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0 または 2018 年 4 月 9 日以降公開のミラーツール |
| | ウイルス・スパイウェア対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0 |
| クライアント用 (Windows10) | 管理 | ・ESET Management エージェント V7.2 | ・ESET Management エージェント V8.1 |
| | ウイルス・スパイウェア対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ESET Endpoint Security V7.3 または ESET Endpoint アンチウイルス V7.3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ESET Endpoint Security V8.1 ・ESET Endpoint アンチウイルス V8.1 |
| | | | |



3. 新バージョンへのバージョンアップフロー

V7 のプログラムから V8 へバージョンアップにあたり必要なステップは、以下の通りです。

【STEP1】ESET Security Management Center サーバーのバックアップ

- STEP1-1. SQL Server Management Studio 18 のインストール
- STEP1-2. ESET Security Management Center のサービス停止
- STEP1-3. データベースのバックアップ
- STEP1-4. コンフィグレーションファイルのバックアップ

【STEP2】サーバーのバージョンアップ

- STEP2-1. 動作要件の確認
- STEP2-2. ESET File Security for Microsoft Windows Server のバージョンアップ
- STEP2-3. ESET PROTECT バージョンアップ
- STEP2-4. データベースのバックアップ
- STEP2-5. ピア証明書と認証局のバックアップ

【STEP3】エージェントのバージョンアップ

- STEP3-1. エージェントのバージョンアップの準備
- STEP3-2. クライアントのエージェントをバージョンアップ

【STEP4】クライアント用プログラムのバージョンアップ

- STEP4-1. 動作要件の確認
- STEP4-2. クライアント用プログラムのバージョンアップ

【STEP5】ESET PROTECT での管理開始

4. 【STEP1】 ESET Security Management Center サーバーのバックアップ

ESET Security Management Center のバージョンアップをする前にデータをフルバックアップしてください。

STEP1-1. SQL Server Management Studio 18 のインストール

1. 以下 URL より、SQL Server Management Studio 18 をダウンロードし、サーバーへインストールしてください。

<SQL Server Management Studio ダウンロードサイト>

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/ssms>

※インストール後、再起動が要求された場合は再起動します。

2. 「Microsoft SQL Server Management Studio18」を起動できることを確認します。
※初めて起動する場合、起動に少々お時間がかかります。

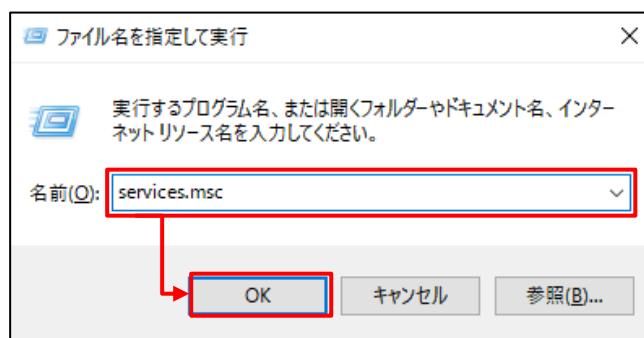
STEP1-2.ESET Security Management Center のサービス停止

サーバーのデータベースのバックアップを取得するために、以下の手順を参照して ESMC のサービスを停止させます。

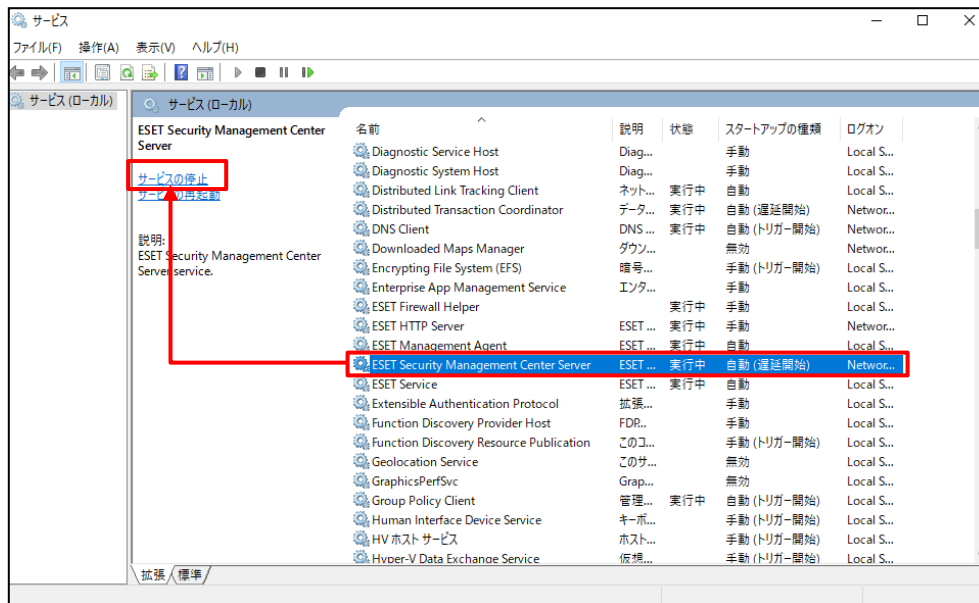
<注意>

ESMC のサービスを一時的に停止するためクライアントを管理することができません。
サービスが停止している間のクライアントのログは、クライアント自身で保持しており、サービス起動後に通信が確立された段階で ESMC にログが送付されます。

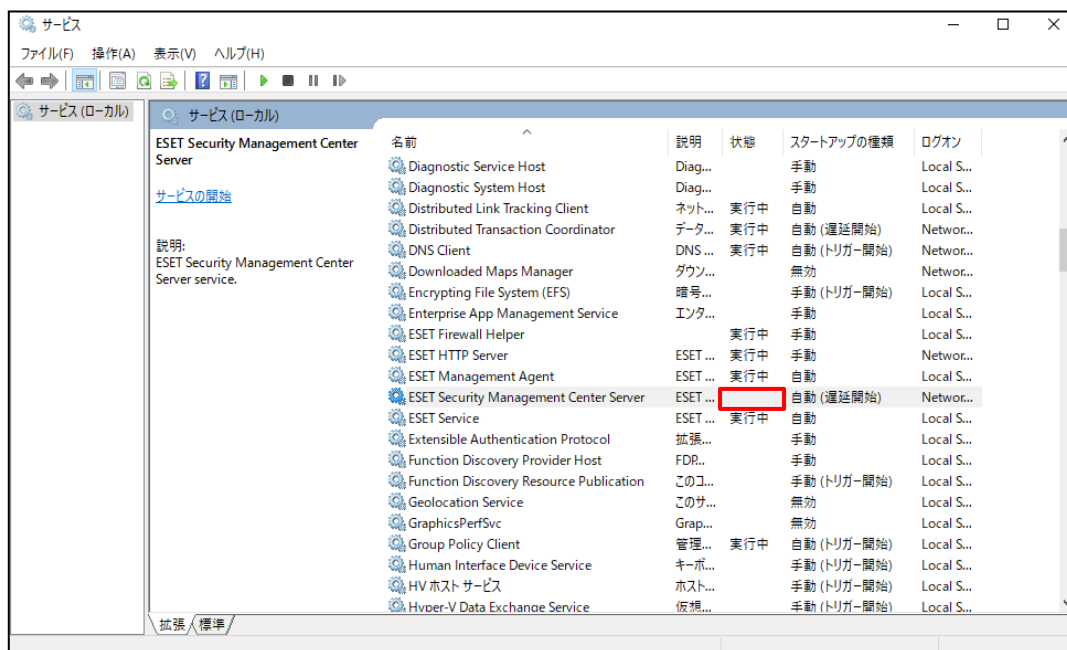
1. 「Windows キー」+「R」でファイル名を指定して実行させるウィンドウを開き「services.msc」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



- 「ESET Security Management Center Server」サービスを選択し、サービスの停止をクリックします。



- 「ESET Security Management Center Server」サービスの状態が空欄になったことを確認します。



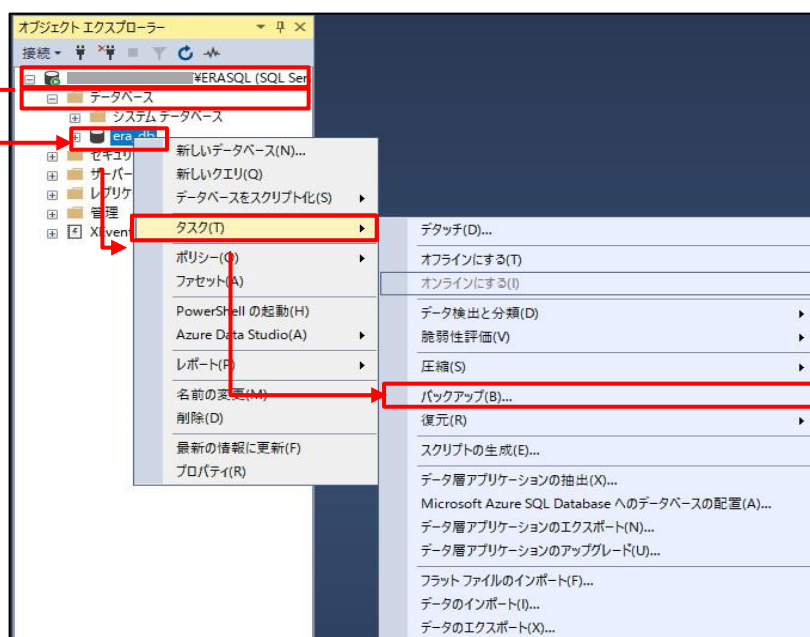
STEP1-3. データベースのバックアップ

1. [Microsoft SQL Server Management Studio 18]を起動します。
※初めて起動される場合、起動までお時間がかかる場合がございます。
2. サーバーへの接続画面で、以下の通り項目を確認して[接続]ボタンをクリックします。

| | |
|---------|---|
| サーバーの種類 | データベースエンジン |
| サーバー名 | ESMC のサーバーで使用しているインスタンス名 ※既定は「コンピューター名¥ERASQL」 |
| 認証 | Windows 認証 |

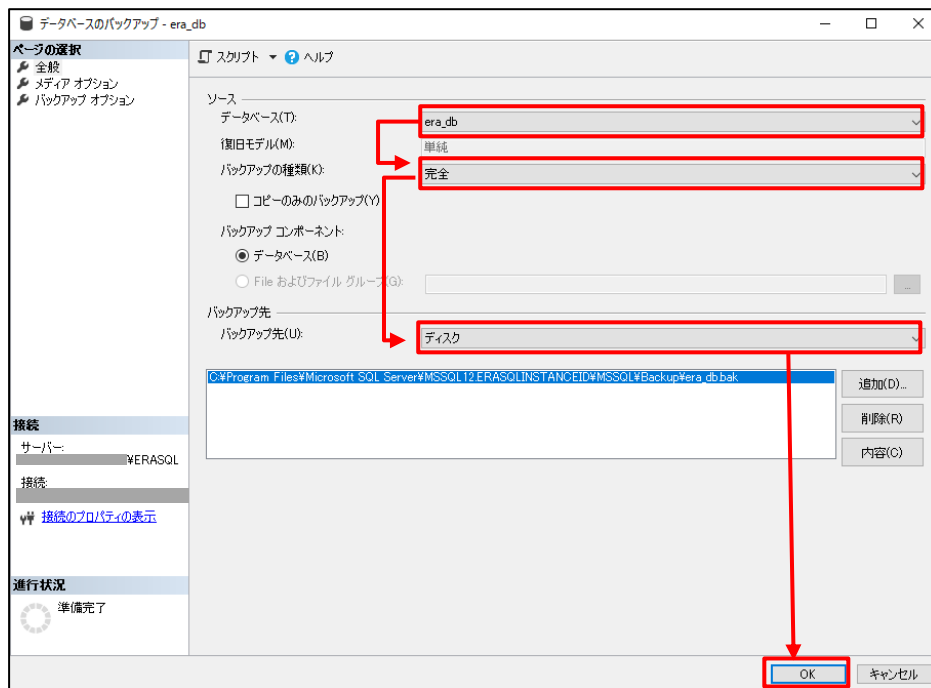


3. オブジェクトエクスプローラーより、[インスタンス名]-[データベース]-[era_db]へ移動します。
「era_db」を右クリックし、[タスク]-[バックアップ]をクリックします。

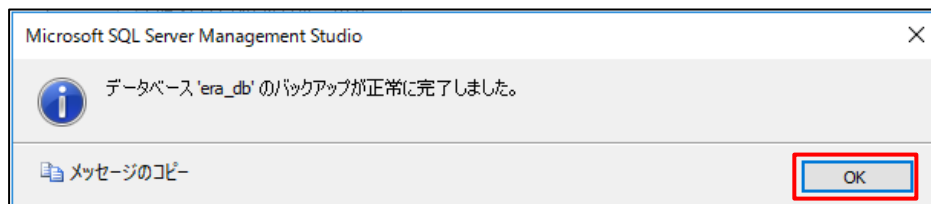


4. データベースのバックアップ画面で、以下の通り設定し、[OK]ボタンをクリックします。

| | |
|-----------|--------|
| データベース | era_db |
| バックアップの種類 | 完全 |
| バックアップ先 | ディスク |



5. 以下のメッセージが表示されたらバックアップは正常に終了しています。
[OK]ボタンをクリックして、閉じます。



※「アクセスが拒否されました」といったエラーが出力された場合は、バックアップファイルの出力先にアクセス権限があるかご確認ください。

6. 手順 4 で作成したバックアップファイルが指定の場所に格納されていることを確認します。

STEP1-4. コンフィグレーションファイルのバックアップ

1. 以下のフォルダの「Startupconfiguration.ini」ファイルをコピーし、任意の場所に保存してください。

<Window Sever 2008/ Window Sever 2012/ Window Sever 2016/ Window Sever 2019 のディレクトリ>

C:¥ProgramData¥ESET¥RemoteAdministrator¥Server¥EraSeverApplicationData¥Configuration

※[ProgramData]が表示されない場合は、[表示]-[隠しファイル]にチェックを入れてください。

※Mobile device Connector をインストールしている場合は、以下のフォルダの「Startupconfiguration.ini」ファイルもコピーし、任意の場所に保存してください。

<Window Sever 2008/ Window Sever 2012/ Window Sever 2016/ Window Sever 2019 のディレクトリ>

C:¥ProgramData¥ESET¥RemoteAdministrator¥MDMCore¥Configuration

2. バックアップ完了後、【STEP1-2】を参考に「ESET Security Management Center Server」サービスを起動してください。

<注意>

EP V8.X のサポート OS は Windows Server 2012 以降です。
サポート OS に関しては、以下 URL をご確認ください。

https://eset-info.canon-its.jp/files/user/pdf/support/esetbe_os_era.pdf

<参考>

ESET Security Management Center のバージョンアップに失敗した場合、データベースとコンフィグレーションファイルのバックアップを使用して、バージョンアップ前の状態に復元することができます。
<オンプレミス型セキュリティ管理ツールのフルバックアップをする手順、および、リストアする手順について>

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/119?site_domain=business

また、バージョンアップ時にデータの引き継ぎに失敗した場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

<お問い合わせ窓口(サポートセンター)のご案内>

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/883?site_domain=business

5. 【STEP2】 サーバーのバージョンアップ

サーバーにインストールされている ESMC と EFSW をバージョンアップします。

STEP2-1.動作要件の確認

バージョンアップの前に、EP V8.X と ESSW V8.X の動作要件を確認します。

<ESET PROTECT 動作要件>

<https://eset-info.canon-its.jp/business/ep/#spec>

<ESET Server Security for Microsoft Windows Server 動作要件>

- ESET PROTECT Entry オンプレミス(旧名称 : ESET Endpoint Protection Advanced)をご利用のお客様
<https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-entry-o/spec.html>
- ESET PROTECT Essential オンプレミス(旧名称 : ESET Endpoint Protection Standard)をご利用のお客様
<https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-essential-o/spec.html>

<参考>

EP V8.1 以降では、64bit 版の Java が必要です。

なお、ERA V6.5 で利用している、Oracle 社提供の Java Runtime Environment 8 は公式アップデートを終了しております。

<Java Runtime Environment 8 のサポート終了に伴う今後の対応について>

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13127?site_domain=business

そのため、有償の JRE もしくは以下の URL を参照し、無償のオープンソース JDK の移行を実施してください。

<【移行手順】Windows Server 環境に構築済みのオンプレミス型セキュリティ管理ツールで、オープンソース JDK を利用するには？>

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13052?site_domain=business

<参考>

EP V8.1 以降では、Apache Tomcat 9(64bit)が必要です。

32bit 版を利用している場合は、32bit 版をアンインストール後、64bit 版をインストールしてからオンプレミス型セキュリティ管理ツールのバージョンアップを実施してください。

64bit 版のインストールにつきましては、以下 URL 内の「事前準備-3. Java と Apache Tomcat のバージョンアップ、または、64bit 版のダウンロード(項番 4 除く)」を参照してください。

<Windows Server 環境でコンポーネントプログラムのインストーラーを利用して、オンプレミス型セキュリティ管理ツールをバージョンアップする手順>

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4773?site_domain=business

※既に 64bit 版を利用している場合は、Apache Tomcat の事前バージョンアップは必要ありません。

<参考>

Microsoft SQL Server 2008 R2 以前のデータベースをご利用の場合は、先に Microsoft SQL Server 2014 以降へアップグレードしたうえで、サーバーのバージョンアップを実施してください。

STEP2-2. ESET File Security for Microsoft Windows Server のバージョンアップ

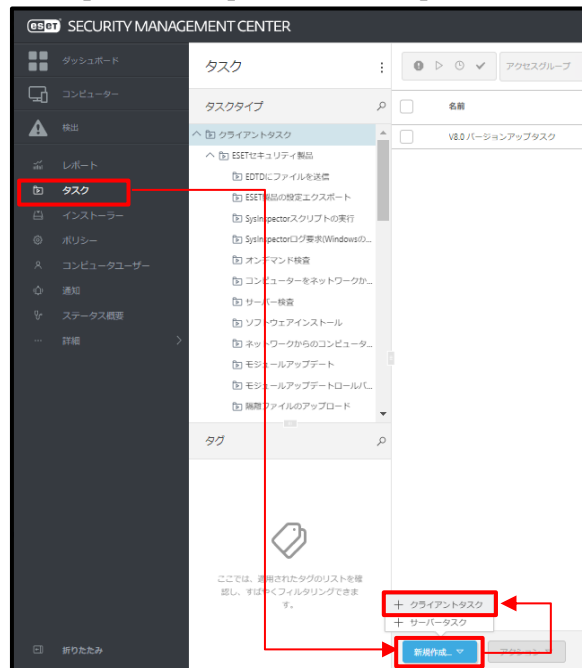
1. ESMC Web コンソール を起動して、ESET Security Management Center に接続します。
ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

※ESMC Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。

[https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era/](https://<管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス>/era/)



2. [タスク]より、[新規作成]をクリックし、[クライアントタスク]を選択します。



3. [基本]を展開し、以下の通り設定します。

| | |
|-------|---------------------------|
| 名前 | 任意の名前(例：ESSW バージョンアップタスク) |
| 説明 | 任意で入力 |
| タスク分類 | すべてのタスク |
| タスク | ソフトウェアインストール |

クライアントタスク
タスク > ESSWバージョンアップタスク

基本

名前
ESSWバージョンアップタスク

タグ
タグを選択

説明

タスク分類
すべてのタスク

タスク
ソフトウェアインストール

4. [設定]を展開し、「ESET ライセンス<選択>」をクリックします。

クライアントタスク
タスク > ESSWバージョンアップタスク

基本

設定

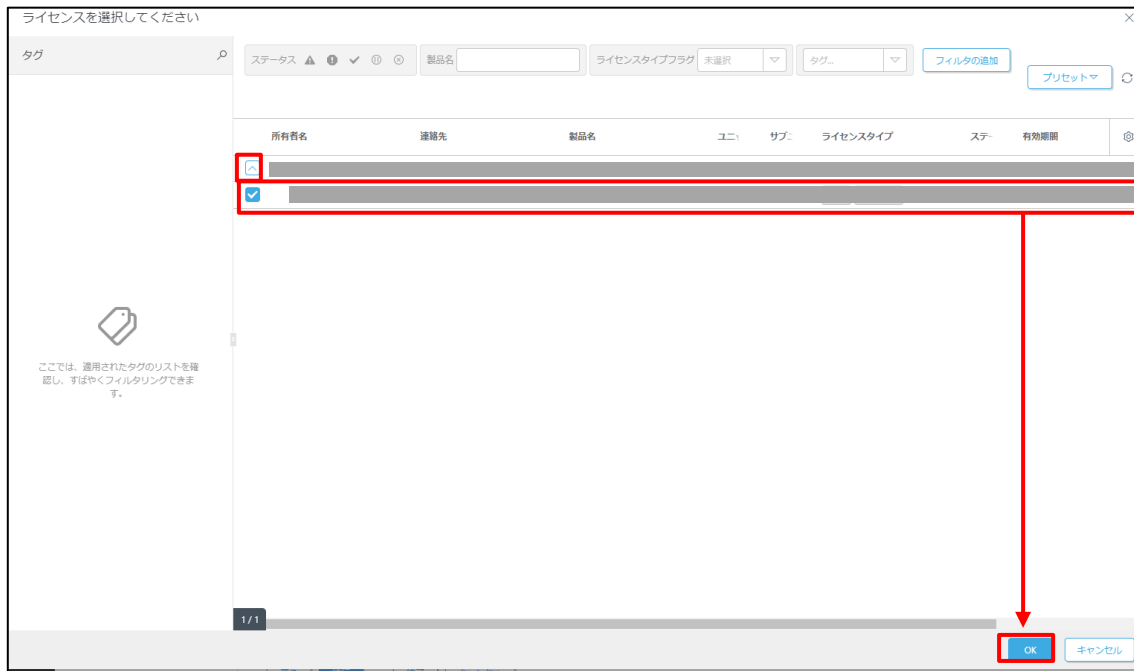
ソフトウェアインストール設定

ESETライセンス
選択

インストールするパッケージ
 リポジトリからパッケージをインストール: <パッケージの選択>
 直接パッケージURLでインストール

インストールパラメータ

5. [^]を展開し、ご利用ライセンスを選択のうえ、[OK]ボタンをクリックします。

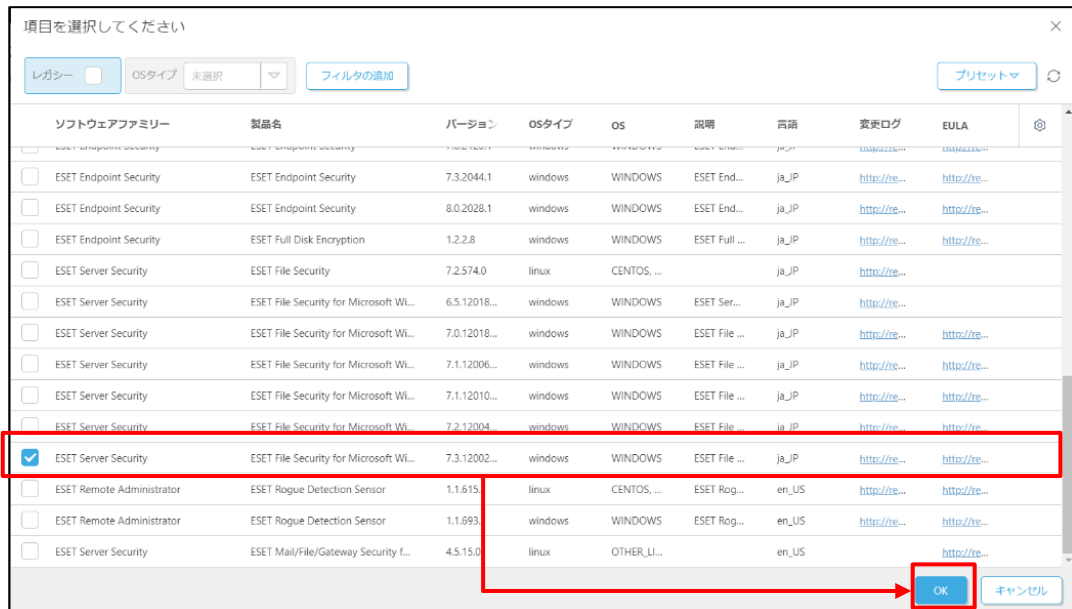


6. 「リポジトリからパッケージをインストール」を選択し、「<パッケージの選択>」をクリックします。



7. 「ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8」の最新バージョンを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

※ここでは例として「ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.3」を選択します。



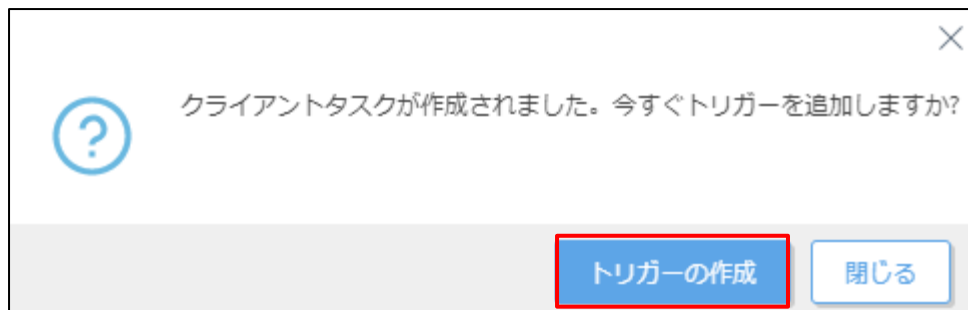
8. 「アプリケーションのエンドユーザー使用許諾契約の条項に同意し、プライバシーポリシーを確認します。」にチェックを入れます



9. 「サマリー」の内容を確認し、問題なければ[終了]ボタンをクリックします。



10. 以下の画面が表示されたら、[トリガーの作成]ボタンをクリックします。



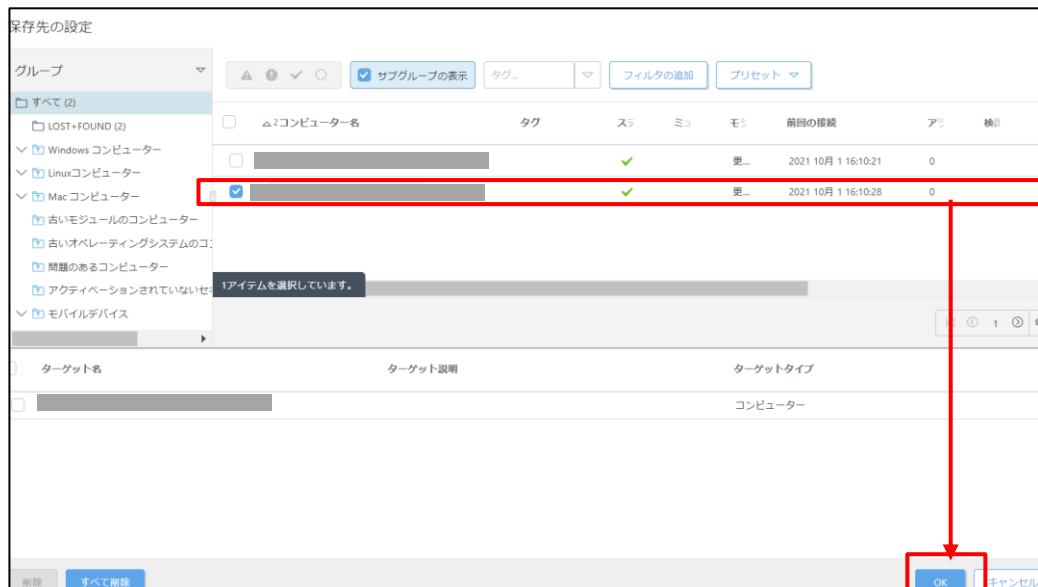
11. [基本]を展開し、任意のトリガーの説明(例：ESSW バージョンアップトリガー)を入力します。



12. [ターゲット]を展開し、「コンピューターへの追加」をクリックします。



13. ESSW がインストールされている管理兼ミラーサーバーを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



14. [トリガー]を展開し、「トリガータイプ」を選択します。[終了]ボタンをクリックします。
※本手順書では「即時」を選択します。



15. 「コンピューター」より、タスクを実行した管理兼ミラーサーバーのプログラムのバージョンがバージョンアップしていることをご確認ください。
※「再起動」を促すアラートが赤く表示されますが、次の【STEP2-3】を実行後に再起動いたします。

| グループ | コンピューター名 | タグ | ステータス | ミューズ | モジュール | 前回の接続 | アラート | 検出 | セキュリティ | セキュリティ |
|----------------|----------|----|-------|------|-------|----------------------|------|----|---------|----------|
| LOST+FOUND (2) | | | ✓ | | 更新 | 2021 10月 1 16:12:... | 0 | 0 | ESET... | 7.3.2... |
| Linuxコンピューター | | | ⚠ | | 更新 | 2021 10月 1 16:13:... | 1 | 0 | ESET... | 8.0.1... |

STEP2-3. ESET PROTECT バージョンアップ

1. ユーザーズサイトより、「ESET PROTECT [Ver 8.1.14.1]」のオールインワンインストーラーをダウンロードします。

[ユーザーズサイト]

<https://canon-its.jp/product/eset/users/index.html>

※ユーザーズサイトにログインするにはシリアル番号とユーザーズサイトパスワードが必要です。

※ユーザーズサイトで[プログラム/マニュアル]-[最新バージョンをダウンロード]と進みます。

[オンプレミス型セキュリティ管理ツール]の※に記載の[旧バージョンプログラムについて]をクリックし、[旧バージョンプログラムダウンロード]ページより ESET PROTECT V8.1 のオールインワンインストーラーをダウンロードします。

2. ユーザーズサイトからダウンロードした「Setup_x64.zip」をサーバー上で展開し、「Setup.exe」をダブルクリックで実行します。



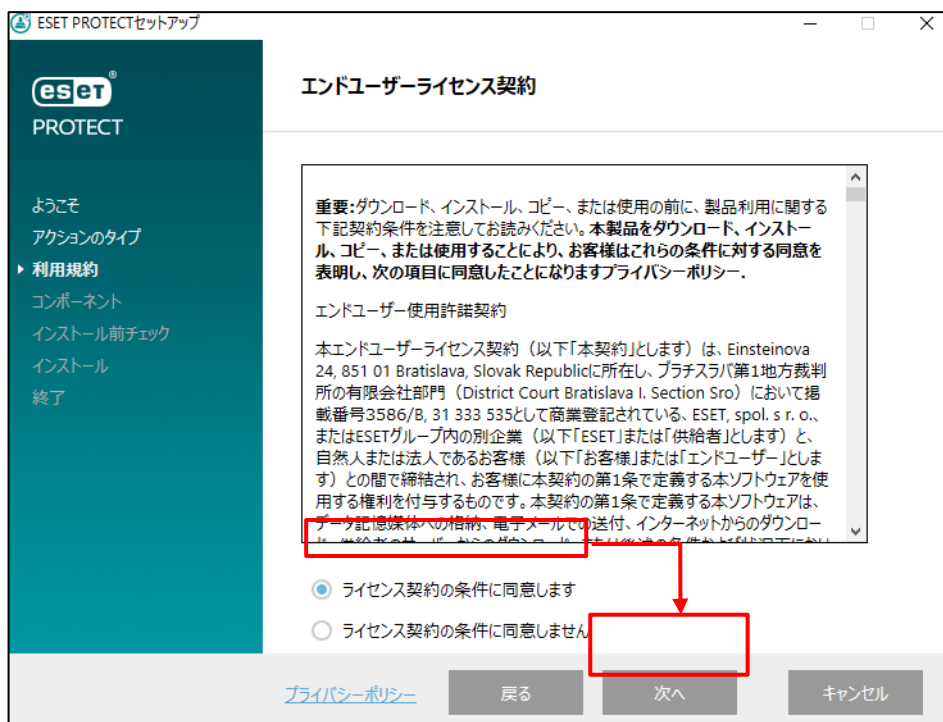
3. 言語で「日本語」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



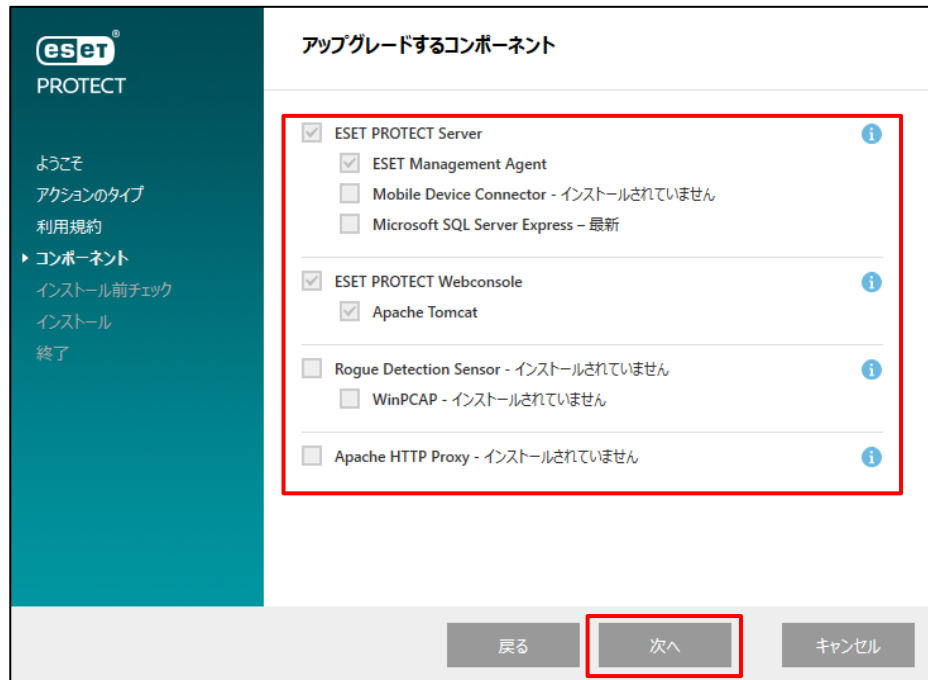
4. 「すべてのコンポーネントをアップグレード」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



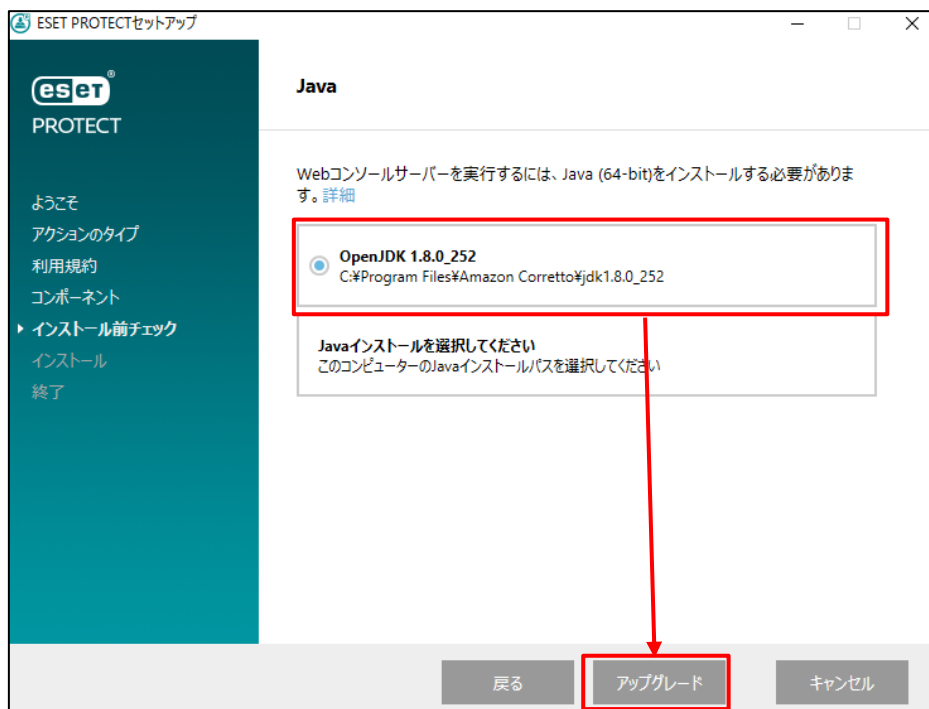
5. エンドユーザーライセンス契約に同意したら、「ライセンス契約の条件に同意します」を選択し、「次へ」をクリックします。



6. アップグレードするコンポーネントを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。
※ESMC V7.2 以前で利用しているコンポーネントがアップグレードされます。



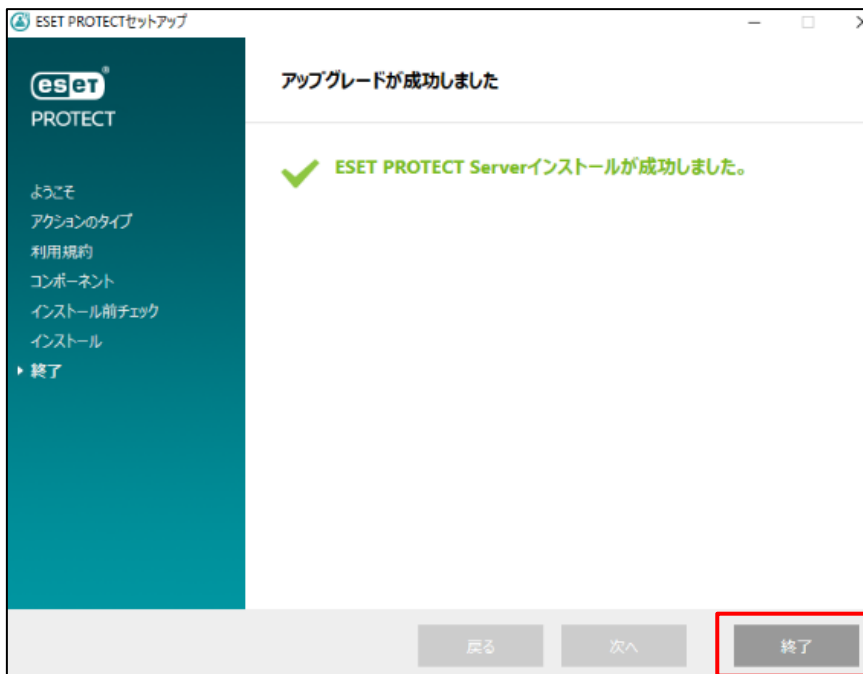
7. ご利用の Java を選択します。Amazon Corretto を利用している場合は、「OpenJDK」を選択し、[アップグレード]ボタンをクリックします。



8. アップグレードが実行されます。



9. アップグレードが完了したら、以下の画面が表示されます。[終了]ボタンをクリックします。



10. 再起動します。

11. EP Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。
ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

※EP Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。

https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era/

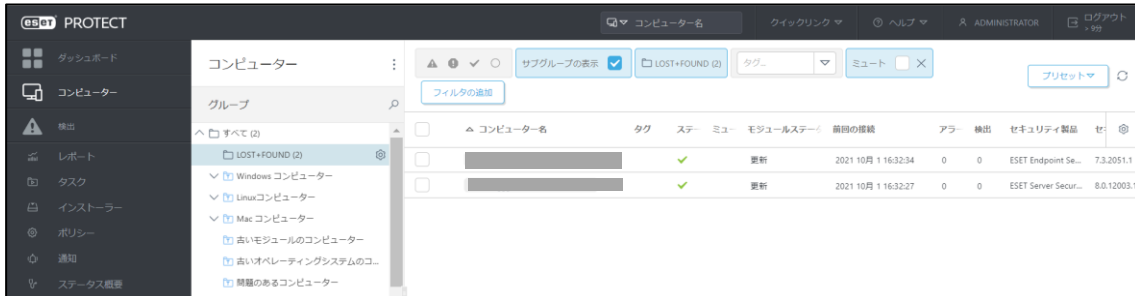


12. 以下の画面が表示されたら、「×」で閉じます。



ESET PROTECT ソリューション V7 から V8 以降へのバージョンアップ手順書

13. 「コンピューター」より、管理兼ミラーサーバーの再起動アラートが消えていることを確認します。
※他の原因でアラートが表示されている場合は、適宜ご対応ください。



14. 右上の「ヘルプ」-「バージョン情報」をクリックします。



15. 「ESET PROTECT (Server)」と「ESET PROTECT (Web コンソール)」バージョンが、「8.1」であることを確認します。



STEP2-4. データベースのバックアップ

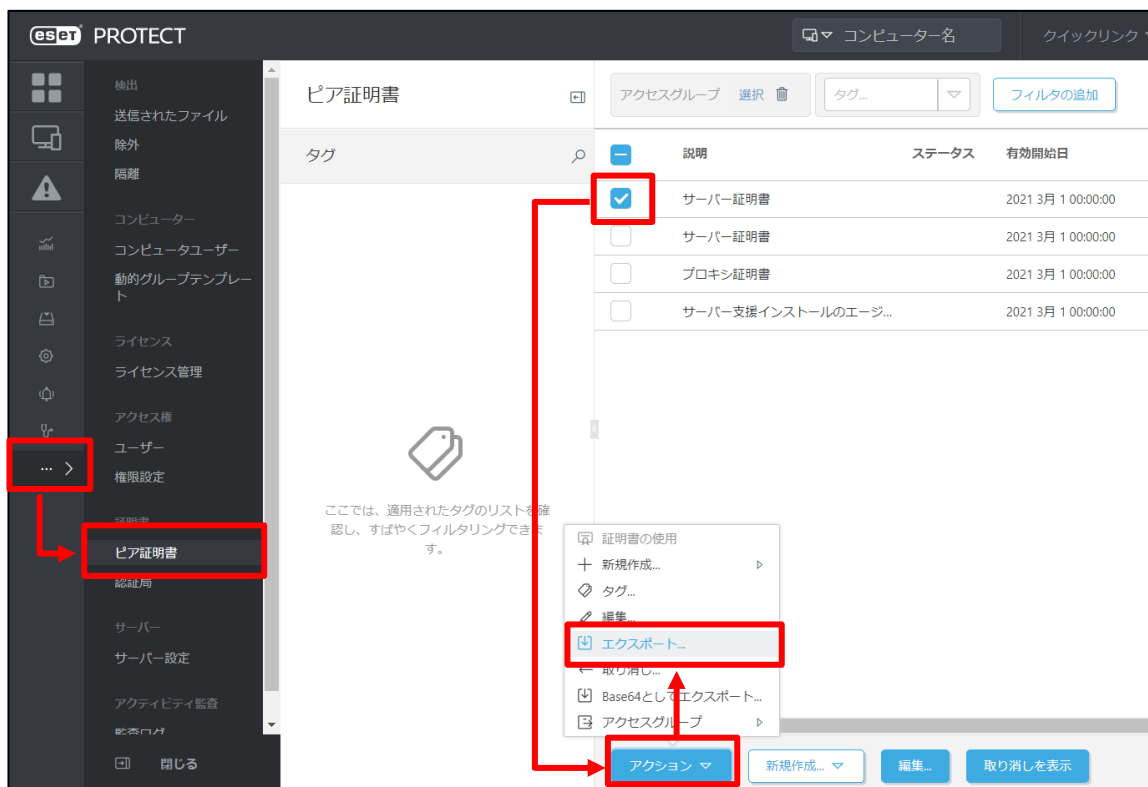
【STEP1】 ESET Security Management Center サーバーのバックアップと同様の方法で、再度 ESET PROTECT のデータベースとコンフィグレーションのバックアップを取得してください。

※バックアップ取得時には、ESET PROTECT サービスを停止する必要がありますのでご注意ください。

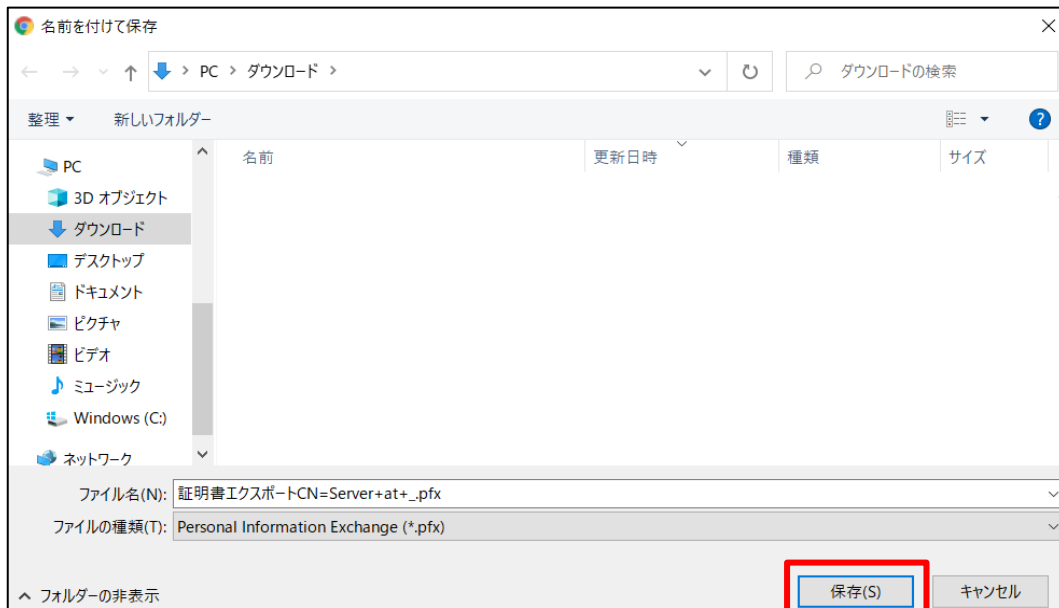
STEP2-5. ピア証明書と認証局のバックアップ

ESET PROTECT と EM エージェントの接続に使用しているピア証明書と認証局をエクスポートして、バックアップを取得します。

1. [詳細-[ピア証明書]より、エクスポートを行う証明書を選択し、[アクション]より[エクスポート]をクリックします。

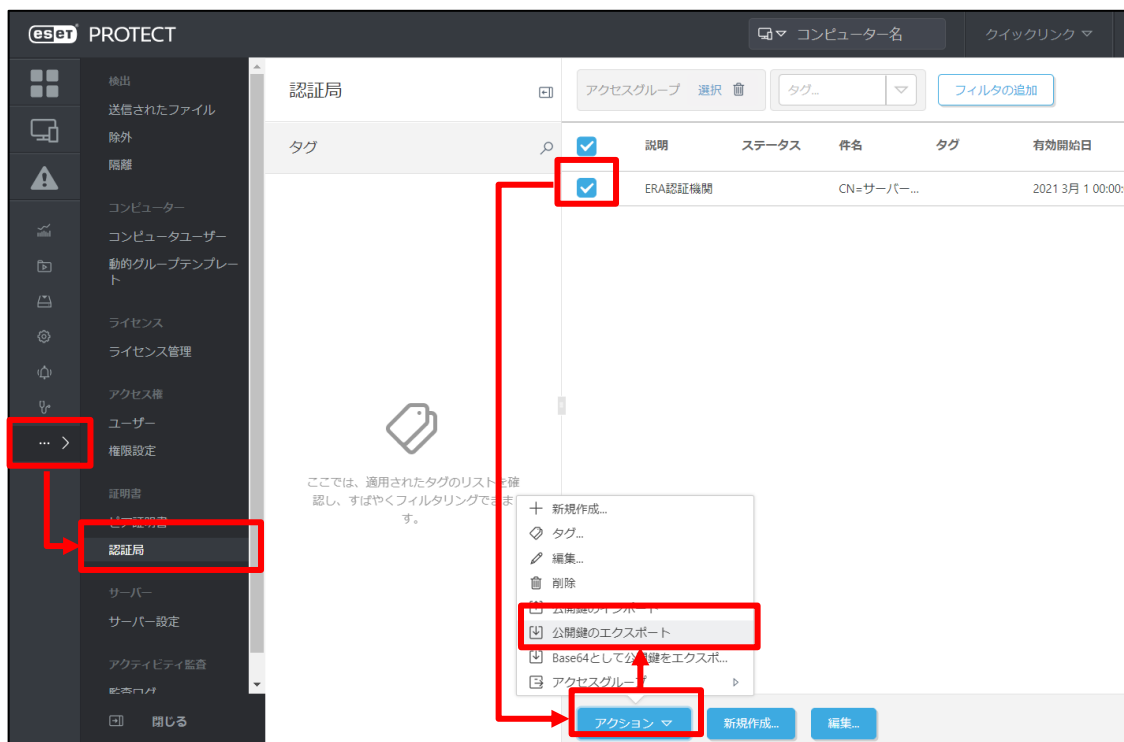


2. エクスポートした証明書を任意の保存先に保存します。

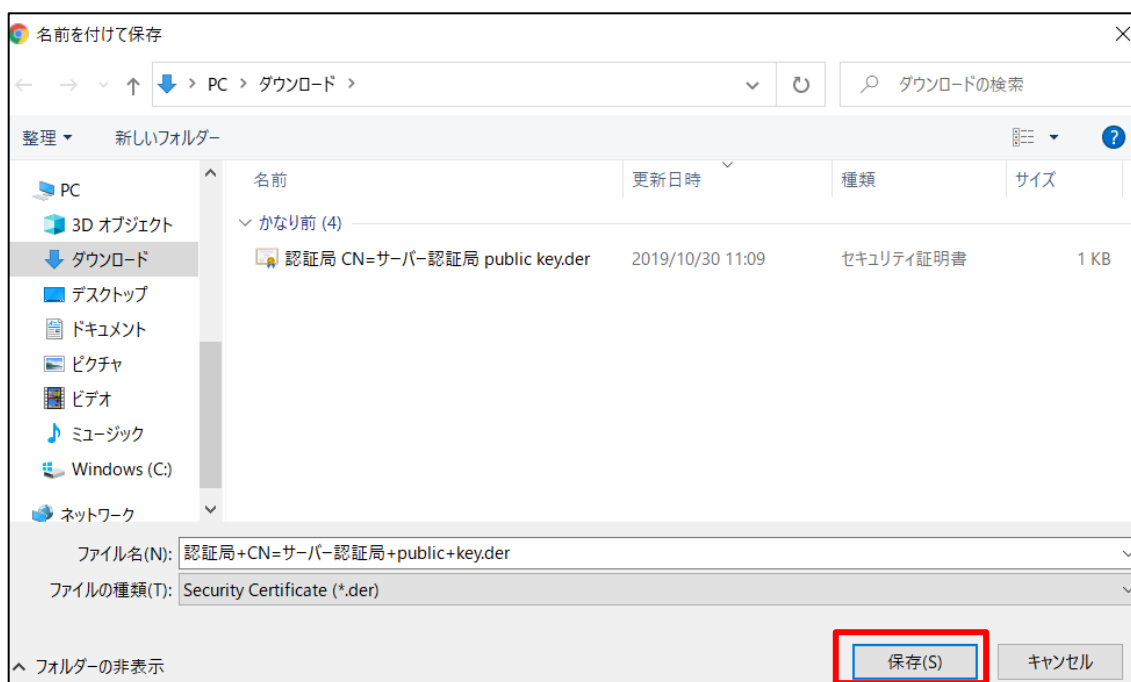


3. 手順 1～2 を繰り返し、各証明書のエクスポートを行います。

4. [詳細]-[認証局]より、エクスポートを行う認証局を選択し、[アクション]より[公開鍵のエクスポート]をクリックします。



5. エクスポートした公開鍵(認証局)を任意の保存先に保存します。



<参考>

不具合に伴うサーバーの再構築やリース切替えに伴うサーバーのリプレイスや増設をおこなう場合、クライアント端末の接続先を変更するため、旧サーバーのサーバー証明書や認証局を新サーバーにインポートする必要があります。

<増設、または、新しく移行したオンプレミス型セキュリティ管理ツールへ接続するには？>

https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13248?site_domain=business

以上で、サーバーのバージョンアップは完了です。

6. 【STEP3】 エージェントのバージョンアップ

クライアント端末の EM エージェント V7.2 以前を V8.1 にバージョンアップします。

STEP3-1. エージェントのバージョンアップの準備

エージェントのバージョンアップが完了したクライアント端末が振り分けられる動的グループを作成します。親グループに割り当てられているポリシーは引き継がれるため、アップデート先の設定などを新たに行う必要はありません。

1. EP Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。
ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

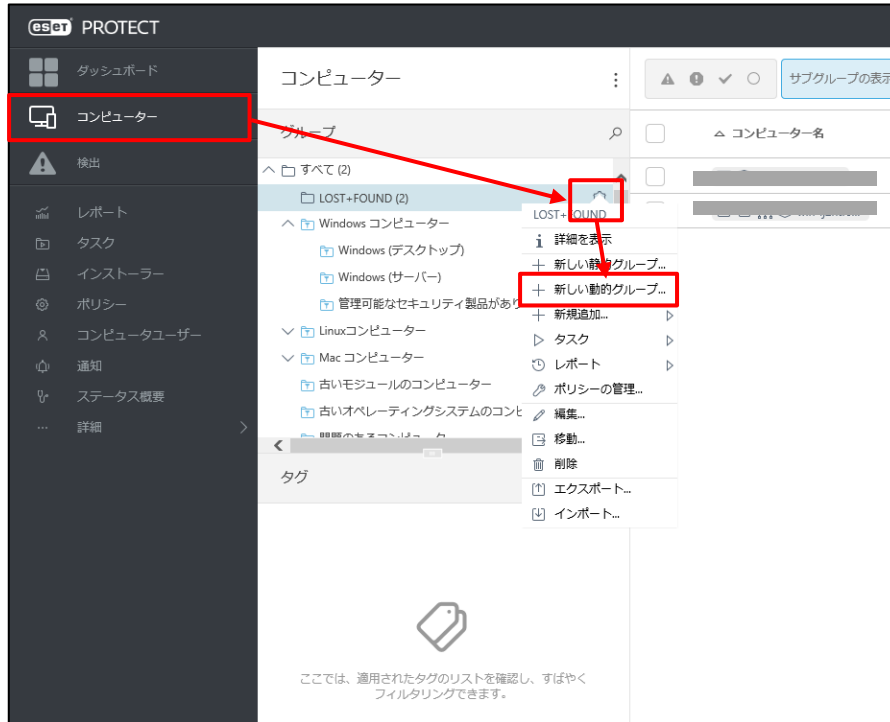
※EP Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。

<https://<管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス>/era/>



2. 「コンピューター」より、バージョンアップを行うクライアント端末が所属する静的グループを選択し、[歯車]-[新しい動的グループ...]をクリックします。

※本手順では、既定でクライアントが所属する「LOST+FOUND」を選択します。



3. [基本]を展開し、任意の名前(例：バージョンアップ完了グループ)を入力します。

※「説明」の入力は任意です。



4. [テンプレート]を展開し、[新規作成]ボタンをクリックします。



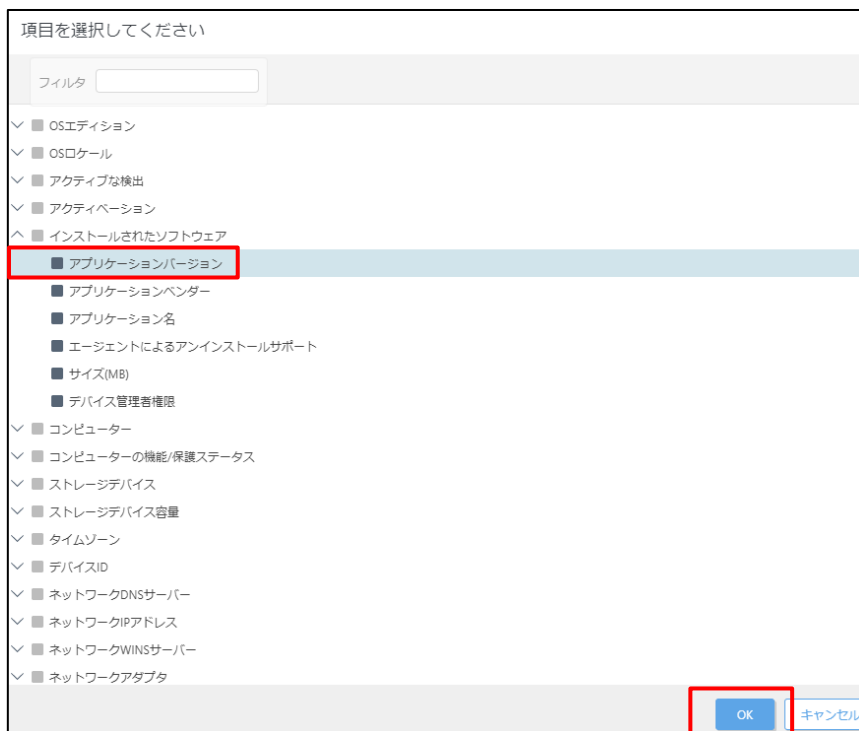
5. [基本]を展開し、任意の名前(例：V8 自動振り分けテンプレート)を入力します。
※「説明」の入力は任意です。



6. [式]を展開し、処理に「AND(すべての条件が真であること)」を選択します。
「ルールを追加」をクリックします。



7. 「インストールされたソフトウェア」-「アプリケーションバージョン」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



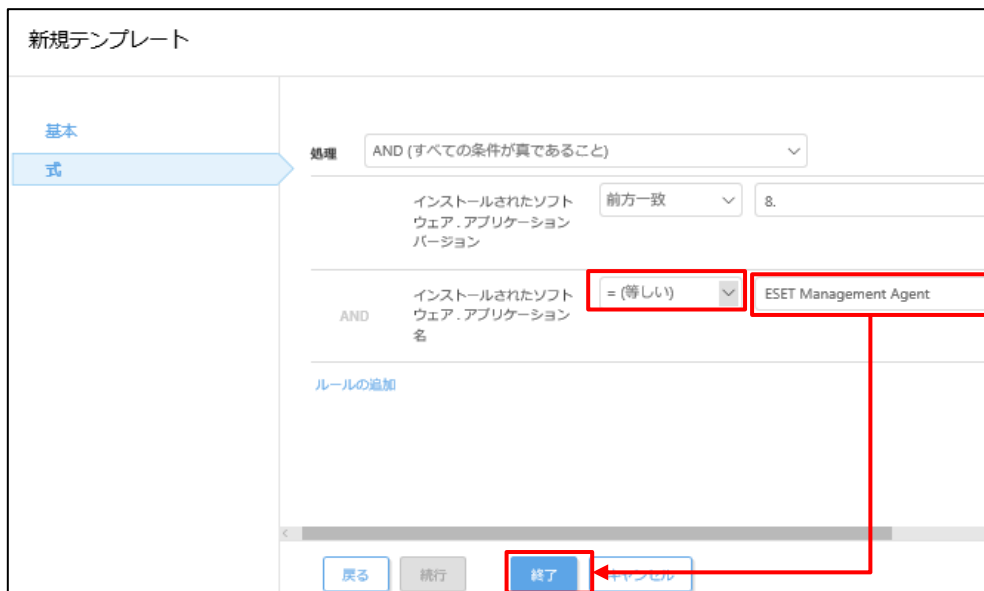
8. 「前方一致」を選択し、条件に「8.」と入力します。
「ルールの追加」をクリックします。



9. 「インストールされたソフトウェア」-「アプリケーション名」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



10. 「=(等しい)」を選択し、条件に「ESET Management Agent」を入力します。
手順 8 で設定した条件と、本手順 10 で設定した 2 つが指定されていることを確認し、[終了]ボタンをクリックします。



11. 「サマリー」の内容を確認し、問題がなければ[終了]ボタンをクリックします。



12. バージョンアップするクライアント端末が所属する静的グループ下に、作成した動的グループがあることを確認します。



STEP3-2. クライアントのエージェントをバージョンアップ

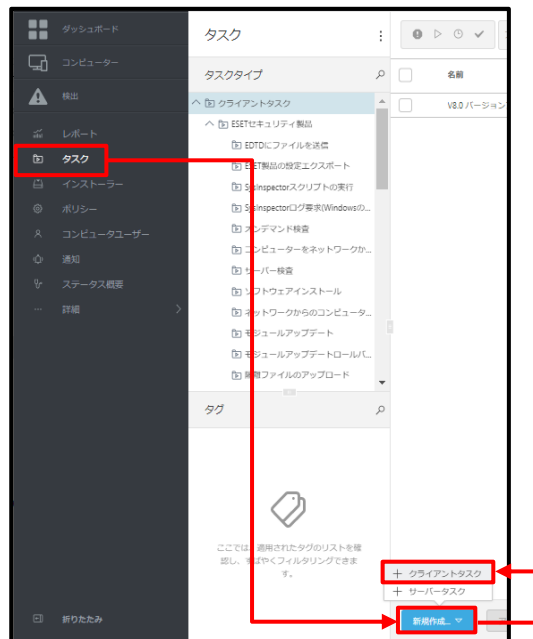
1. EP Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。
ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

※EP Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。

[https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era](https://<管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス>/era)



2. [タスク]-[新規作成]-[クライアントタスク]をクリックします。



3. [基本]を展開し、以下のとおり設定します。[続行]ボタンをクリックします。

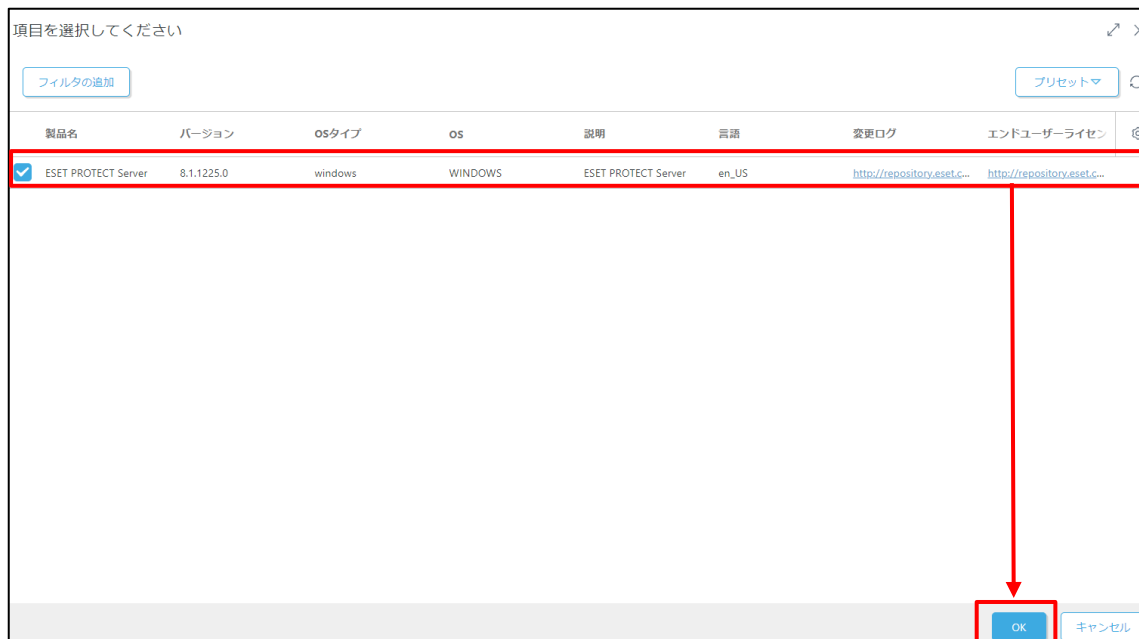
| | |
|-------|------------------------------|
| 名前 | 任意の名前(例：エージェントのバージョンアップ) |
| 説明 | 任意の説明 |
| タスク分類 | すべてのタスク |
| タスク | ESET PROTECT コンポーネントのアップグレード |



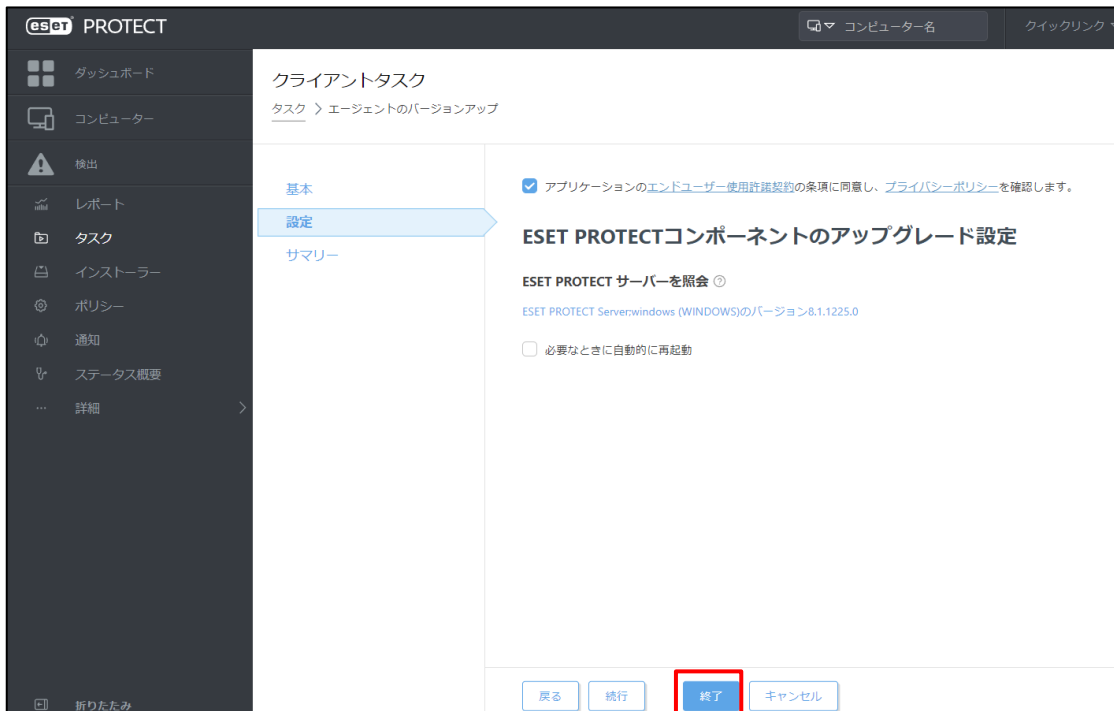
- 「アプリケーションのエンドユーザー使用許諾契約の条項に同意し、プライバシーポリシーを確認します。」にチェックを入れます。
「<サーバーを選択>」をクリックします。



- ESET PROTECT のコンポーネントを選択し、[OK]ボタンをクリックします。
※最新のバージョンをご利用ください。



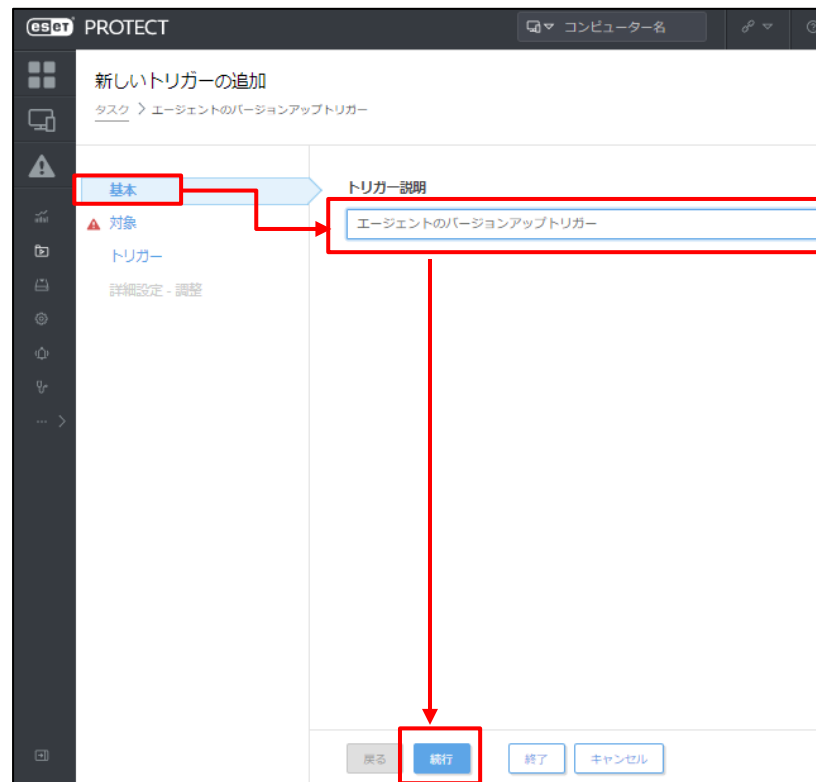
6. [終了]ボタンをクリックします。



7. 以下の画面が表示されたら、[トリガーの作成]ボタンをクリックします。



8. [基本]を展開し、任意のトリガー説明(例：エージェントのバージョンアップトリガー)を入力します。
[続行]ボタンをクリックします。

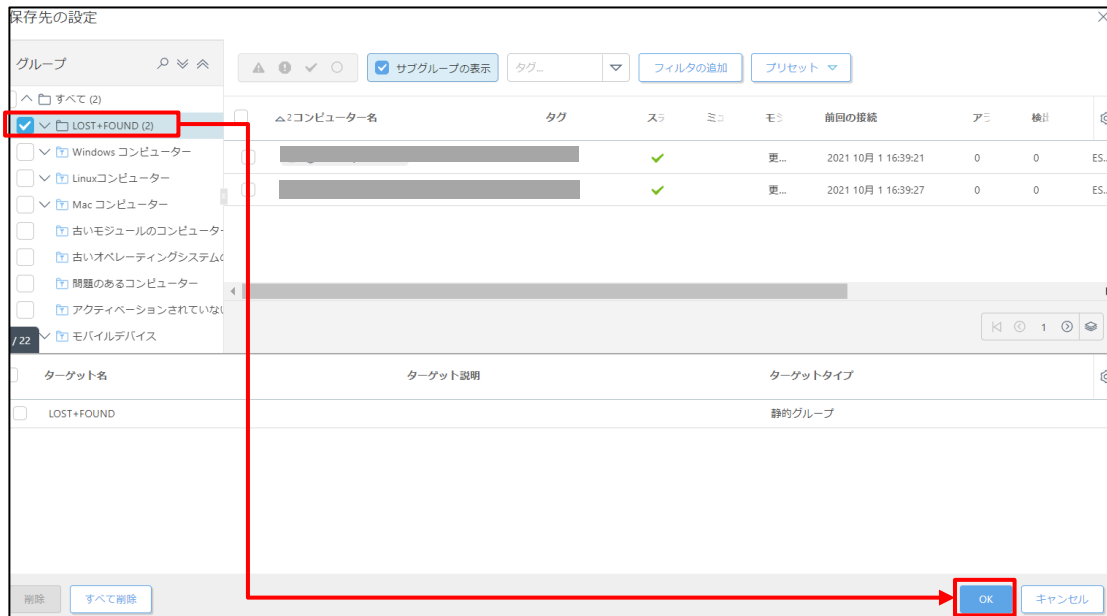


9. [対象]を展開し、「ターゲットの追加」をクリックします。

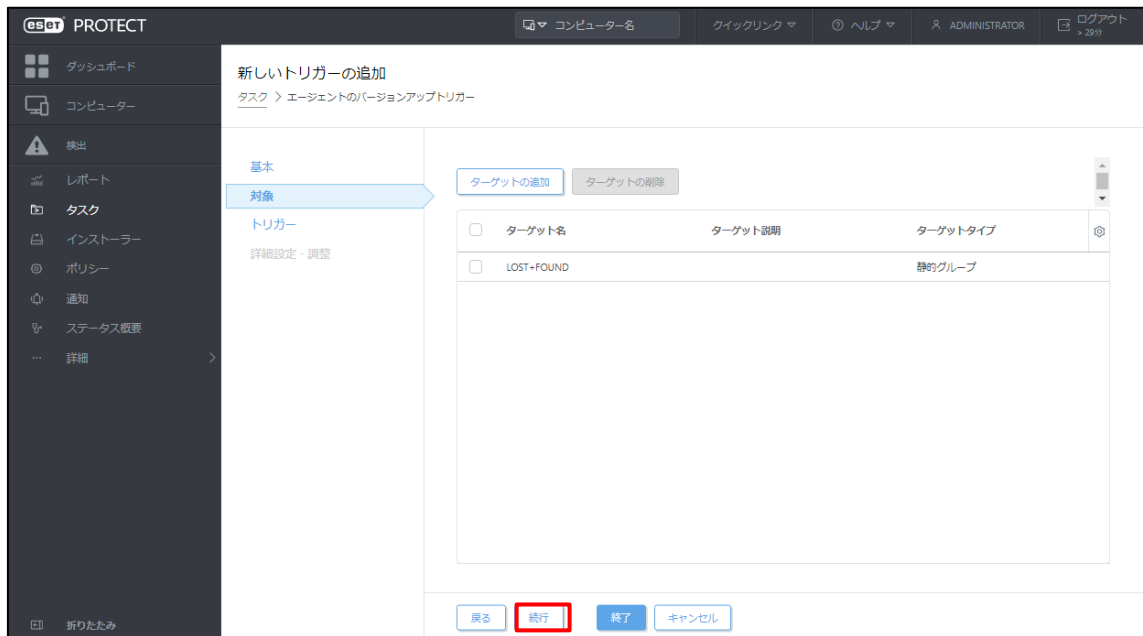


ESET PROTECT ソリューション
V7 から V8 以降へのバージョンアップ手順書

10. エージェントのバージョンアップを実施するコンピューター、または、グループを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

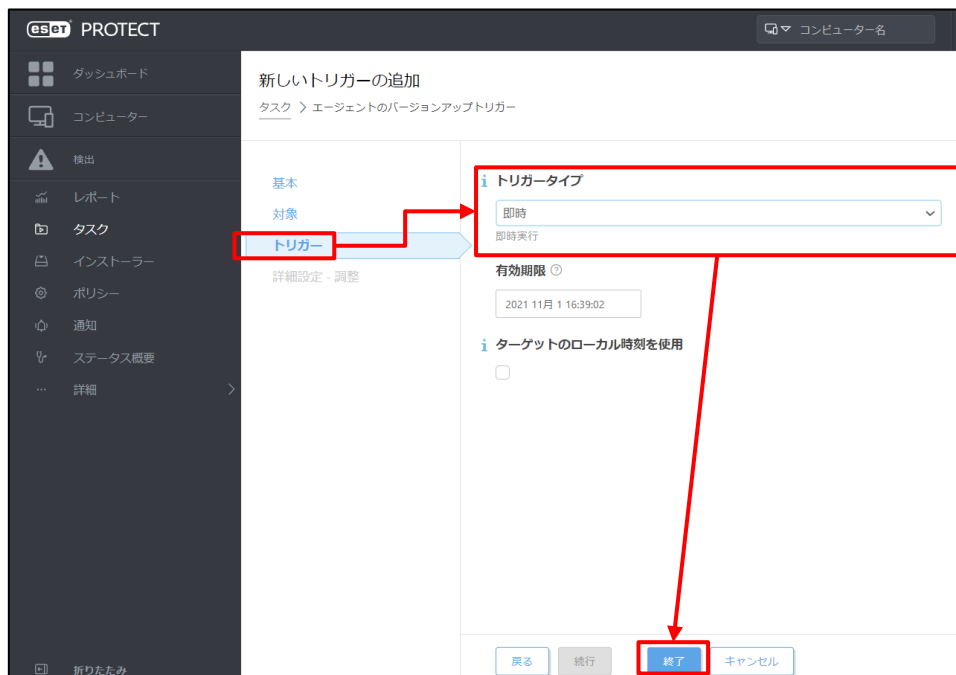


11. [続行]ボタンをクリックします。



12. [トリガー]を展開し、「トリガータイプ」を選択します。

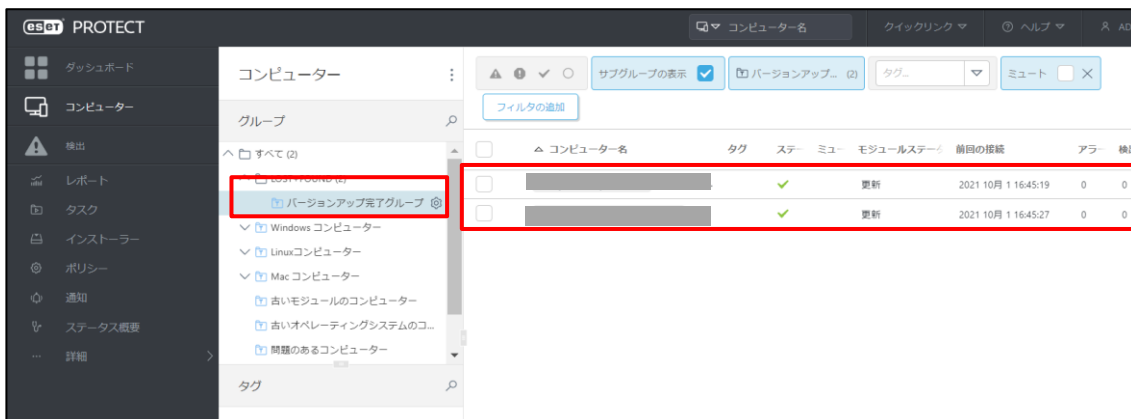
※本手順では「即時」を選択します。[終了]ボタンをクリックします。



<参考>

タスクの実行により、クライアント端末からインターネットへバージョンアップ実施のための通信が発生します。ネットワークの負荷を懸念される場合は、グループやクライアントごとに実行時間を分散することをご検討ください。

13. 【STEP3-1】で作成したエージェントバージョンアップ完了グループに、クライアント端末が所属していることを確認します。



以上で、エージェントのバージョンアップは完了です。

7. 【STEP4】 クライアント用プログラムのバージョンアップ

STEP4-1. 動作要件の確認

バージョンアップの前に、EES V8.X と EEA V8.X の動作要件を確認します。

<ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス 動作要件>

- ESET PROTECT Entry オンプレミス(旧名称 : ESET Endpoint Protection Advanced)をご利用のお客さま

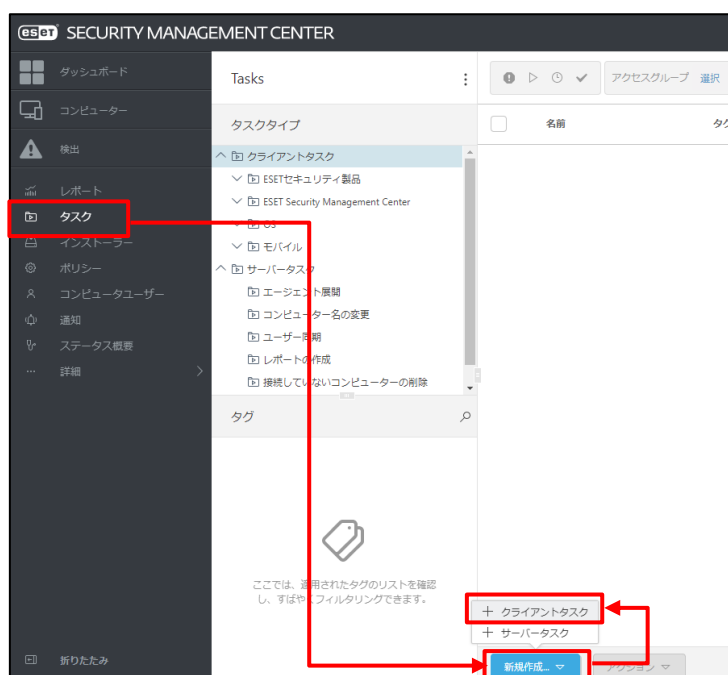
<https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-entry-o/spec.html>

- ESET PROTECT Essential オンプレミス(旧名称 : ESET Endpoint Protection Standard)をご利用のお客さま

<https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-essential-o/spec.html>

STEP4-2. クライアント用プログラムのバージョンアップ

1. [タスク]より、[新規作成]をクリックし、[クライアントタスク]を選択します。



2. [基本]を展開し、以下の通り設定します。

| | |
|-------|---------------------------|
| 名前 | 任意の名前(例：V8.1 バージョンアップタスク) |
| 説明 | 任意で入力 |
| タスク分類 | すべてのタスク |
| タスク | ソフトウェアインストール |

クライアントタスク
タスク > V8.1バージョンアップタスク

基本

名前
V8.1バージョンアップタスク

タグ
タグを選択

説明

タスク分類
すべてのタスク

タスク
ソフトウェアインストール

3. [設定]を展開します。「リポジトリからパッケージをインストール」を選択し、「<パッケージの選択>」をクリックします。

クライアントタスク
タスク > V8.1バージョンアップ

基本

設定

ソフトウェアインストール設定

インストールするパッケージ

リポジトリからパッケージをインストール <パッケージの選択>

ESETライセンス

インストールパラメータ

必要に応じて自動的に再起動

戻る 実行 終了 キャンセル

4. バージョンアップする製品を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

<注意>

バージョンアップする製品は、お客様のご利用されているライセンスに合わせた製品を選択します。

- ESET Endpoint Antivirus + ESET Server Security :
ESET Endpoint Antivirus を選択します。
 - ESET Endpoint Security + ESET Server Security :
ESET Endpoint Security、または ESET Endpoint Antivirus を選択します。
- ※製品選択を間違えないようにご注意ください。
※以下は ESET Endpoint Security を選択した際の画面例です。
※バージョンは最新のものを選択してください。

項目を選択してください

レガシー OSタイプ 未選択 言語 日本語 x x フィルタの追加 プリセット

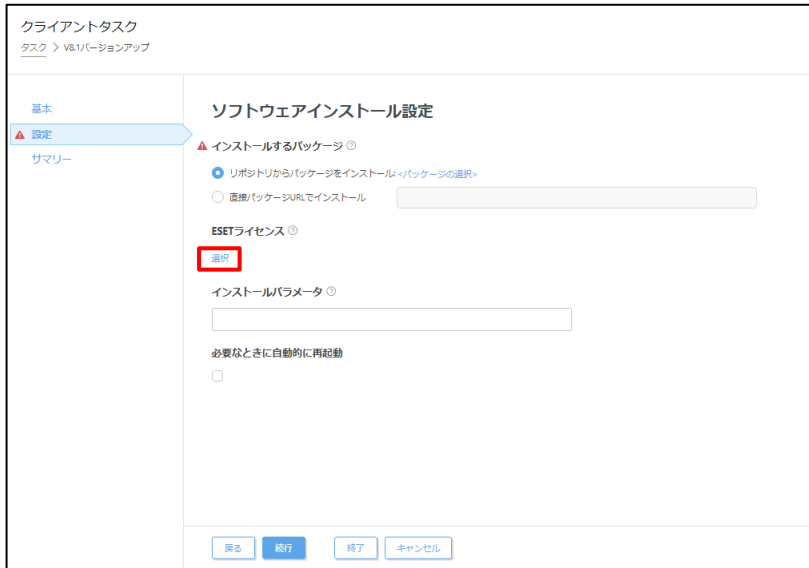
| ソフトウェアファミリー | 製品名 | バージョン | OSタイプ | 説明 | 言語 | 変更ログ | エンドユーザーライセン... |
|-------------------------------------|------------------------|----------------------------|-------------|---------|----------------------------|-------|---|
| <input type="checkbox"/> | ESET Endpoint Security | ESET Endpoint Antivirus | 8.1.2037.3 | windows | ESET Endpoint Antiviru... | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Endpoint Security | ESET Endpoint Security... | 6.10.910.0 | macOS | | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Endpoint Security | ESET Endpoint Security... | 6.8.400.0 | macOS | | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Endpoint Security | ESET Endpoint Security... | 6.9.200.0 | macOS | | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Endpoint Security | ESET Endpoint Security | 6.5.2132.6 | windows | ESET Endpoint Security... | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Endpoint Security | ESET Endpoint Security | 6.6.2089.1 | windows | ESET Endpoint Security... | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Endpoint Security | ESET Endpoint Security | 6.6.2095.1 | windows | ESET Endpoint Security... | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Endpoint Security | ESET Endpoint Security | 7.0.2120.1 | windows | ESET Endpoint Security... | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Endpoint Security | ESET Endpoint Security | 7.3.2051.1 | windows | ESET Endpoint Security... | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Endpoint Security | ESET Endpoint Security | 8.0.2028.1 | windows | ESET Endpoint Security... | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input checked="" type="checkbox"/> | ESET Endpoint Security | ESET Endpoint Security | 8.1.2037.3 | windows | ESET Endpoint Security... | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Server Security | ESET File Security | 7.2.574.0 | linux | | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Server Security | ESET File Security for ... | 6.5.12018.0 | windows | ESET Server Security | ja_JP | http://repository.eset.c... |
| <input type="checkbox"/> | ESET Server Security | ESET File Security for ... | 7.0.12018.1 | windows | ESET File Security for ... | ja_JP | http://repository.eset.c... |

OK キャンセル

<参考>

サーバー用プログラムの EFSW(管理サーバーにインストールされている EFSW を除く)をバージョンアップする場合は、製品名で「ESET File Security for Microsoft Windows Server」を選択します。

5. ESET ライセンスの「<選択>」をクリックします。

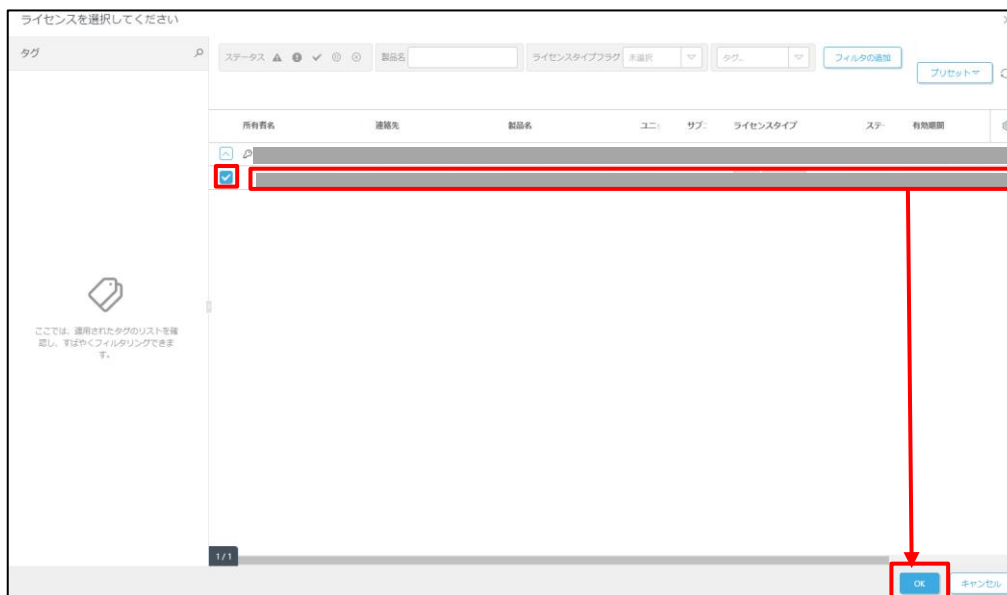


6. [+]を展開し、ご利用ライセンスを選択のうえ、[OK]ボタンをクリックします。

※ご利用されている管理プログラムによっては、以下のエラーメッセージが表示され、作業が進まなくなってしまう場合があります。

◆タスクの作成に失敗しました：ライセンスサーバーへの接続に失敗しました

上記エラーが表示され場合、「キャンセル」ボタンよりタスクの作成を中止後、再度タスクの作成を実施してください。その際、本手順の 5～6 にてご案内している ESET ライセンスは選択せずに作業を進めてください。



7. 「アプリケーションのエンドユーザー使用許諾契約の条項に同意し、プライバシーポリシーを確認します。」にチェックを入れます。その後「続行」をクリックします。

クライアントタスク
タスク > V8バージョンアップタスク

基本
設定
サマリー

ソフトウェアインストール設定

インストールするパッケージ ①

- リポジトリからパッケージをインストール: ESET Endpoint Security; windows (WINDOWS)のバージョン8.1.2037.3、言語ja_JP
- 直接パッケージURLでインストール

ESETライセンス ②

アプリケーションのエンドユーザー使用許諾契約の条項に同意し、プライバシーポリシーを確認します。

保護の設定

- i** ESET LiveGrid® フィードバックシステム
 - ESET LiveGrid® フィードバックシステムを有効にする (推奨)
- i** 望ましくない可能性があるアプリケーションの検出
 - 望ましくない可能性があるアプリケーションの検出を有効にする

戻る 続行 終了 キャンセル

8. 「サマリー」の内容を確認し、問題がなければ[終了]ボタンをクリックします。

クライアントタスク
タスク > V8バージョンアップタスク

基本
設定
サマリー

基本

名前
V8バージョンアップタスク

説明

タグ

タスクの種類
ソフトウェアインストール

ソフトウェアインストール設定

ESETライセンス

インストールするパッケージ
ESET Endpoint Security; windows (WINDOWS)のバージョン8.1.2037.3、言語ja_JP

戻る 続行 終了 キャンセル

9. 以下の画面が表示されたら、[トリガーの作成]ボタンをクリックします。



10. [基本を展開し、任意のトリガーの説明(例：V8バージョンアップトリガー)]を入力します。

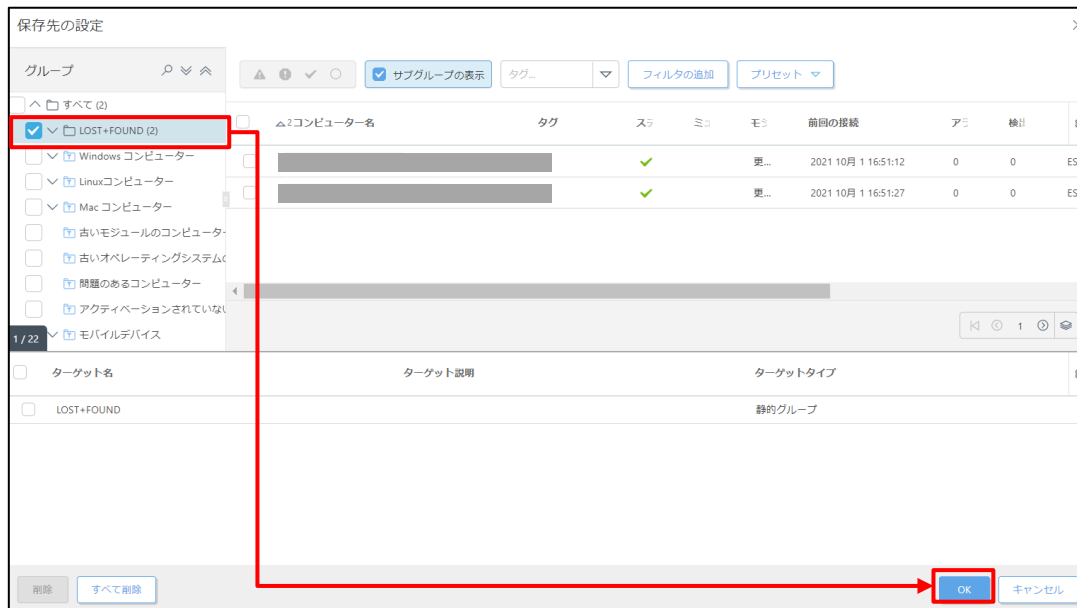


11. [対象]を展開し、「ターゲットの追加」を選択します。

※本手順では「グループの追加」を選択します。



12. バージョンアップするクライアントが所属するグループを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



13. [トリガー]を展開し、「トリガータイプ」を選択します。

※本手順では「即時」を選択します。

[終了]ボタンをクリックします。



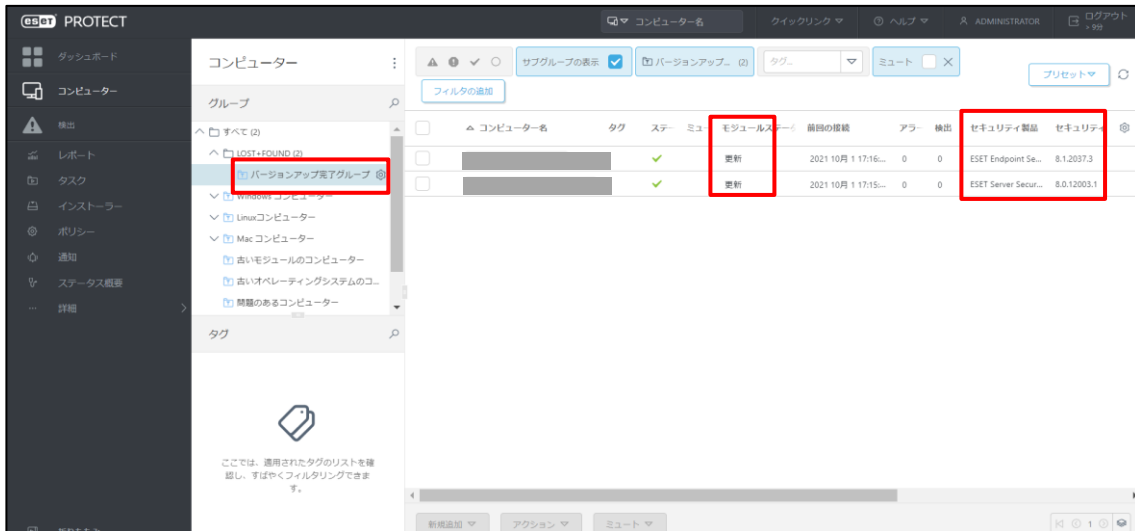
<参考>

タスクの実行により、クライアント端末からインターネットへバージョンアップ実施のための通信が発生します。ネットワークの負荷を懸念される場合は、グループやクライアントごとに実行時間を分散することをご検討ください。

14. 「コンピューター」より、STEP3-1 で作成した動的グループに、バージョンアップしたクライアントが所属し、モジュールが「更新」、セキュリティ製品バージョンが「8.X」以上になっていることをご確認ください。

※バージョンアップ後は再起動が必要なため、最初は赤色のアラートで表示されます。

その場合は、クライアントの再起動を行ってください。



8. 【STEP5】 ESET PROTECT での管理開始

1. EP Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。
ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

※EP Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。

[https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era](https://<管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス>/era)



2. 「コンピューター」より、管理しているクライアントのステータスが正常なこと、セキュリティ製品バージョンが「8.X」以上であることが確認できれば、バージョンアップ完了です。



以上でバージョンアップ作業は終了です。